'73 10
No. 17
昭和48年10月1日発行
発行　横越村役場

広報よこごし

——おもな内容——
1. 心配ごと、人権、行政苦情相談18日に（P1）
2. 特別土地保有税が新設（P2）
3. 昭和47年度むらの家計簿（P2）
4. 籠球に4君が国体代表選手に（P3）
5. 日展竹芸家松堂氏、公民館に美術品寄贈（P3）
6. 小杉青年団の交通安全運動（P4）

—どなたも気軽に相談を—

役所の仕事について、テキパキやってもらえない、不親切なあつかいをうけた、納得ができない、どうしてよいかわからない、こうしてほしい等々。役所（国関係の仕事）に対する不平不満があるが、どうも関係の役所には申出にくいとか、どこへ申出たらよいかわからないという方は、気軽にご来所ください。

なお、このほかに人権問題と、心配ごと相談も合せて行ないます。これらのことでお困りの方はこの機会をぜひご利用ください。

日時　十月十八日
午後一時～午後四時

合同相談所開設

場所　横越村公民館

五千平方メートル以上の土地の保有と取得に課税

特別土地保有税が新設

特別土地保有税は、土地の投機的取り引きを抑制することを目的に本年四月法律の改正が行なわれ、市町村税として新しく設けられた税です。次にそのあらましをお知らせします。

◎課税客体

特別土地保有税の課税客体は、土地を保有（所有）している者に課する保有税と、土地を取得（買ったもの）したものに課する取得税の二つがあります。

ここでいう土地とは、田、畑、宅地、塩田、鉱泉地、池沼、山林、牧場、原野、その他の土地とされています。

この場合、保有分については、昭和四十四年一月一日以前に取得した土地は課税対象から除外されます。

◎納税義務者

特別土地保有税の納税義務者は、保有分については、土地の所有者で、取得分は土地を取得した者で次に該当するものです。

1. 保有分については、毎年一月一日現在において五千平方メートル（約五反）以上所有している者。
2. 取得分については、一月一日または七月一日前一年以内に五千平方メートル以上取得した者。

◎課税標準

特別土地保有税の課税標準は、土地の取得価額です。（取得価額は購入代価）

◎税率

土地の保有分については一・四%
土地の取得分については三%とされています。

◎税額の算定

1. 所有に対して課する税額は、課税標準額に税率（一・四%）を乗じた額から固定資産税額を控除した額。
2. 取得に対して課する税額は、課税標準額に税率（三%）を乗じた額から不動産取得額を控除した額。

◎非課税

特別土地保有税の非課税となる土地は、固定資産税、また不動産取得税が非課税とされているものや、農業経営規模の拡大、住宅用地、その他政策的観点から非課税となる土地があります。

◎申告納付

特別土地保有税の納税義務者は、次により土地所在の市町村に申告納付しなければなりません。

1. 一月一日において五千平方メートル以上の土地を所有する者は、その年の五月三十一日まで。
2. 一月一日前一年以内に五千平方メートル以上の土地を取得した者は、その年の二月末日まで。
3. 七月一日前一年以内に五千平方メートル以上の土地を取得したものは、その年の八月三十一日まで。

横文字

オランダはチューリップの本場です。八月でもう花期は過ぎてチューリップの花は見られませんでしたがその時期には各地で美しい花園を見ることができるそうです。

チューリップだけでなくバスでオランダの農村を通りましたが、建物はそんな大きな家ではなく、古いのですがどこの家でも前庭にきれいな花が咲き乱れており、窓辺には植木鉢の花が並べられておりました。時々コンクールなども行われるのだそうです。

緑の牧場、広い畑を背景にして美しく飾られた農家の風景はほんとうに絵のような感じでした。街へはいっても、デパートの窓に、街の商店街の軒先にも植木鉢が飾られてきれいな花を咲かせておりました。住民の人達が自分の家を、自分たちの街をきれいな美しい環境にしようという意欲が感じられました。

花だけでなく、街路はきれいに清掃されて紙くずなどは殆ど見られず一定の時間になると水が流されて、すみにたまったごみが流れるようなしくみになっていました。やはり長い間かかって美しい環境をつくるための努力が積みかさなって、もうそれがあたりまえとなったような安定した感じでした。

日本でも、花一ぱい運動とか緑の運動ということできれいな環境づくりに努めてきておりますが、その時だけで終ってしまうような気がします。私どもの村ではどちらのお家も広い屋敷を持っておられます。最近は庭園プームでどちらのお宅でもきれいな庭園を作られるようになりました。大変よいことだと思います。更に余裕のある所では庭に花を作り四季折々の花を咲かせて大勢の人たちに楽しませてはどうでしょうか。農村全体が緑と花に包まれたきれいな村になったら素晴らしいと思います。（副井）